

KADOMA PHOTO NEWS

門真にかかる桜のアーチ 砂子水路の桜



春の風物詩「砂子水路の桜」が満開を迎え、4月6日、砂子水路桜並木保存会による田舟が運行されました。船上からの景色を楽しみに多くの人が訪れました。市在住のイルワンさんは「昨年に来ることができなかったのが、すごい楽しみにしていました。また来年も来たいです」と笑顔で話してくれました。



イルワンさんファミリー



さくら広場 みんなで春を感じよう

市内にある桜の名所「さくら広場」へ門真市イメージキャラクターのガラスケがお花見に出かけました。大阪・関西万博に出展するパナソニックグループパビリオンが制作した「うみのハンモック」も設置され、ガラスケも満喫している様子でした。

◆うみのハンモック
海洋ゴミが形を変えながら生活へと戻る。そんなめぐる物語の通過点として、廃棄漁網を利用して作った「漁網リサイクルネット」が使われています。

子どもたちのココロ安らぐ場所に



枚方信用金庫は、市内2店舗のスペースを活用し、NPO法人トイボックスが実施する「宿題カフェ」の取り組みに協力しています。

この取り組みが、5年度「地方創生に資する金融機関等の特徴的な取組事例」に認定されたことを報告するため、枚方信用金庫とNPO法人トイボックスが市役所を訪れました。



感動 夜空に浮かぶ キレイなお月さま

大きな望遠鏡で冬の夜空を観望する「天体観望会」が3月16日、市民プラザで開催されました。当日は天候に恵まれ、講師の中島健次先生の案内で大きな三日月や木星、冬の大三角形を鑑賞。また国際宇宙ステーションが上空を通過する様子も見え、子どもたちをはじめとした参加者も大喜び。定員がすぐに達してしまうほどの盛況ぶり、当日参加者からは「感動した!」「またぜひやってほしい」などの声があがり、大好評でした。

がんばりました

DERAJUMP2024
小学生高学年部門 準優勝

島本ダブルダッチクラブ
しまのえかなた
島ノ江奏汰さん
(五月田小学校6年生)

本番はドキドキしましたが、自分が積み重ねてきた練習と、チームのメンバーを信じて、集中して演技ができました。



KADOMA中学生勉強会

3月21日、ルミエールホールでKADOMA中学生勉強会の卒所式が開催されました。KADOMA中学生勉強会は、大学生のボランティアグループで、毎週15人程度の大学生が参加し、中学生への学習支援活動や居場所づくりに取り組んでいます。

この日は、約1年間学んだ中学生30人が卒所をするにあたり、大学生が企画したレクリエーションなど楽しい和やかな雰囲気の中、中学生への卒所証書や記念品、大学を卒業する4年生への感謝状が授与されました。

門真市出身で京都府立大学を卒業する教室リーダーの南那奈さんは「大学4年間をこの勉強会で過ごし、非常に素敵で貴重な経験をさせていただきました」と振り返りました。

KADOMA中学生勉強会では、現在、大学生ボランティアを募集しています。お問い合わせはKADOMA中学生勉強会へ直接。



KADOMA中学生勉強会ホームページ